



(発行)  
熊本市教育委員会事務局  
学校教育部 総合支援課  
学校サポート班  
(文責)  
指導主事 田中 慎一郎  
tanaka.shinichiro@city.kumamoto.lg.jp

# 喜怒哀楽の伝え方



大人にとって同じように感じるメールとSNS。実はこの二つ、大きく異なります。日本語に直すのであれば、メールは手紙でSNSはトーク、つまり会話です。手紙と会話の違いを思い浮かべれば、違いがよくわかるのではないのでしょうか。

例えば、夜書いた手紙を朝読み直した経験はありませんか。夜にスラスラ書いた手紙を朝読むと、かなり恥ずかしい思いをしたことがあります。だから、手紙は夜書かずに昼間に書くように心がけたものです。感情が移入し過ぎることによって、読み手に誤解を与えないために冷静な昼間に書くのです。もしも、夜書いたのであれば、一晩寝かして朝読み直して出していました。それに比べ、

会話は全く別物です。リアルタイムで進むので、その時その時の感情がモロに出ます。例えば、皆さんは話している相手から、自分に言葉が投げられたら、それを返すのに何秒かけますか。おそらく瞬時に返すでしょう。つまり、あなたが相手に向かって発する言葉は、相手の言葉を受け取った時の感情の影響をかなり受けた言葉になります。相手が発した言葉を熟考して返すのであれば、数秒遅れになってしまいます。それでは会話は成り立ちません。すなわち、会話はその人の性格そのものが出てしまうのです。手紙では隠せていた感情が、会話では隠せずに見えてしまう。怒りっぽい人と会話する時、気を使いますよね。それと同じ

です。無料通話アプリLINE。ここでのメッセージのやり取りは、トークと呼びます。まさしく会話なのです。だから、相手から来たメッセージをいちいち深く読んで、その行間を読みながら返しはしないのです。瞬時に自分の感じたままの感情でメッセージを返す。それがSNSということになります。しかしこのSNS。会話と違って、視覚的に残ります。会話は、音ですので、消えて無くなります。しかし、SNSでのやり取りは、感情が生のまま出てしまうのにも関わらず、ずっと目の前に残るのです。だから、いろんな人の感情を刺激します。SNSトラブルは、その仕組みを知らないままに感情を露出した結果、起こる

のです。例えば、希望の高校に合格したことを嬉しさのあまりSNSに書き込むとします。もしも、希望の学校を不合格になった人がいたとしたら、その人はその投稿を見て胸がチクチクしてしまうのです。進学や進級で、これから出会う新しい友だちもたくさんいると思います。まだ会ってないのに、感情を露出したSNSでの投稿から、なんか嫌な人だなんて思われないようにしたいですね。喜怒哀楽を感じることは、決して悪いことではありません。ただそれをいろんな人の目に触れ、そしてずっと残るSNSに露出することは、自分の人生にとってマイナスになることもあります。ネットもいいけど、出会いと別れの季節だからこそ、直接面と向かった時の人間関係を大切にしたいものです。



リアル  
つぶやき



春は、ちょっぴり寂しい気分になる田中です。本年度最後のprogress(プログレス)。お付き合いいただきありがとうございました。おかげさまで、いろんなところで声をかけられました。「リアルつぶやきいつも読んでますよ！」いや…あのお…嬉しいのですが、この通信はリアルつぶやきではなく、progressなのでできればそっちの方を覚えていただければ(汗) なーんて、冗談です(´▽`)読んでいただいていることに感謝です。言ってみれば、この通信も文字によるコミュニケーション。ネットだって同じ。使い方によっては、気持ちが伝わるし、面と向かったコミュニケーションのきっかけにもなる。ネットの問題は、機器の問題ではなく使う人の問題。だとすれば、人を育てたい。この想いは、きっと保護者の皆様も同じなのではないのでしょうか。次年度、この通信が続くかどうか分かりませんが、紙面を通して皆様に心を伝えられて幸せでした。読んでくれる人がいるから、通信になるんです。皆さんは私の大切な大切なフォロワーでした。1年間ありがとうございました。